

乳腺外科トピックス 2023年3月 「ひそかにしこりに気付いておられる方へ。」

2019年2月頃より、新型コロナウイルス感染症が日本のみでなく、世界中に蔓延しました。あれから4年目となります。この間にがん検診受検率が下がった結果、早期発見への影響が出ました。症状に気付いておられながらも、受診を控える方が増えたこともその一因でしょう。

2019年当初とは異なり、どの病院でも発熱外来を設置し、一般患者さんと動線を分ける等、感染予防対策をしっかりとすることで、安心して受診頂けるようになってきました。どうぞ、がん検診にいらしてください。気になる症状のある方は1日も早くご受診ください。

### 「ひそかにしこりに気付いておられる方へ」

あなたが思っておられるよりも病状は深刻でないことが多いです。根治できることがほとんどです。もうだめだと決めつけず、どうぞご受診ください。当院は、医師、検査技師（マンモグラフィもエコー検査も）がすべて女性です。ご来院を心からお待ちしています。

治療費のことを懸念されておられる方へ：要件を満たせばほかの病気と同様に、「高額療養費制度」が使えます。また、治療の副作用に伴う脱毛に対するかつら等の補助金もお住いの自治体によっては利用できます。

乳がんの患者さんの99%は女性です。また、肺がんや大腸がんなどほかのがんの患者さんと比べて若年であることが多く、また、根治目的であっても手術に加えて薬物療法が必要となることも少なくありません。薬物療法の副作用で脱毛したり、手術によってボディイメージが変わることがあります。また、診断時の年齢によっては、妊孕性について考えなくてはならない場合もあります。兵庫県ではできる限り安心して治療を受けて頂くために、「がん患者アピアランス（外観）ケア、サポート」および「兵庫県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」を行っています。これらは、乳がん患者さんのみではなく、性別を問わず、がん治療を受ける方が対象となっています（助成を受けるためには一定の要件を満たす必要があります）。詳しくは市立西脇病院乳腺外科ホームページ（[乳腺外科\(乳腺外来\)／西脇病院 \(nishiwaki.lg.jp\)](http://www.nishiwaki.lg.jp)）をご覧ください。